



町田市・昭和薬科大学 「健康的に暮らせる持続可能なまちの実現」に向けて、 まちづくりの推進協定を締結しました。

町田市と昭和薬科大学では、人材交流や健康づくり、地域協働等に連携・協力して取り組み、学生の人材育成及び地域への愛着醸成と地域の活性化を図るため、2019年12月25日(水)に二者による「町田市・昭和薬科大学 健康的に暮らし続けられるまちづくりの推進に関する協定書」を締結しました。



協定締結の様子 町田市 石阪市長(左) 昭和薬科大学 山本学長(右)

この協定は、町田市が進める南町田拠点創出まちづくりプロジェクトと大学臨床心理学研究室「セルフメディケーションとまちづくり」研究実践との過去3年間にわたる連携、2019年度から開始した東京都住宅供給公社「本町田住宅」への学生居住推進による団地再生及び地域コミュニティ醸成の取組などの実績をさらに発展させ、薬学とまちづくりという異なる分野をつなげる官学の連携と実践により、市民や学生が健康的に暮らし続けられるまちを実現していくことを目指しているものです。

昭和薬科大学では「地域連携センター」を設置することが決まっており、今後、二者では、2019年11月にまちびらきを迎えた南町田グランベリーパークでの継続した活動を始め、大学の研究成果や身近な薬学情報を分かりやすく市民に伝える教育普及活動、地域活動との積極的な連携などに、官学が協力して取り組んでいきます。

その第一弾の取組として、2020年1月27日(月)から31日(金)に市役所1階の多目的スペースにて、昭和薬科大学により、薬学を分かりやすく市民の皆さんにお知らせする展示・イベント「クスリの不思議を知ろう:昭和薬科大学がやってきます！」を行います。

本協定についての詳細は別紙のとおりです。

以 上

本リリースに関するお問い合わせ先

町田市 都市づくり部 都市政策課 TEL :042-724-4248 FAX:050-3161-5502

昭和薬科大学 総務課 TEL :042-721-1505 FAX:042-721-1590

【別紙】

■連携・協力事項

1. 薬学を通じた市民の健康及び福祉の増進を図るための学習・意識啓発の機会創出
2. 薬学とまちづくりの相互連携による、子育て推進・健康づくりに資する啓発・交流活動等の促進
3. 健康づくりをテーマとした地域と大学との連携による新しい研究プロジェクト等の実践
4. 学生が地域に愛着をもち、地域内において、学生と地域住民との交流を促進するための取組

■協定締結までの取組実績と今後の展開

【薬学を通じた市民の健康及び福祉の増進を図るための学習・意識啓発の機会創出】

○地区協議会、周辺自治会及び町内会との連携



大学近隣の玉川学園・南大谷地区の地区協議会と連携し、2015年から「まちカフェ」への参加、地域連携の講演会の参加などの連携を続けている。

また、大学学園祭などで地域住民の健康増進につながる活動を展開している。近隣住民の皆さんには「模擬患者」という教育ボランティアにも協力いただいている。

今後は、大学内に「地域連携センター」を設置し、更なる地域連携の取組を図る。

【薬学とまちづくりの相互連携による、子育て推進・健康づくりに資する啓発・交流活動などの促進】

○青空おくすり教室



町田市、東急株式会社が官民連携で進めている「南町田拠点創出まちづくりプロジェクト」において、市民協働のまちづくりを進める活動に昭和薬科大学も参画。セルフメディケーションをキーワードに「きらきらプロジェクト」と名付けて学生主体の活動を展開。2017年度から3年間、市民ワークショップ「まちのがっこう祭」などに、「青空おくすり教室」という企画でプログラムを提供。

その一環で、近隣の鶴間小学校での薬物乱用防止教育も、町田薬剤師会の協力のもと実施した。

まちびらき後も「南町田グランベリーパーク」における継続した活動、連携を進める。

○お薬相談カフェ活動



2018年度から町田市と町田地域子育て相談センター、さらに町田市薬剤師会が連携し、「地域の子育て家庭のお薬に関する悩みを相談できるカフェ」を昭和薬科大学内で開催。

2019年度においても9月と11月に「お薬相談カフェ」を実施。キャンパスを開いて場を設定することで、地域子育て相談センター、子育て世代の市民、薬剤師など、参加者が有意義な体験をすることができる貴重な機会となっている。

○赤ちゃん親子が参加する授業



「赤ちゃん親子が参加する授業」は、町田地域子育て相談センターとの協働事業として、2018年度から実施している。

幼い子どもと接する機会が少ない大学生が赤ちゃんに触れ合うと同時に、親御さんから育児の楽しさ・大変さを直接聞き、さらに地域の子育て支援の仕組みについて学ぶ。赤ちゃんの父母にとっては育児を通して若い世代に経験を伝えられる社会貢献の場ともなっている。

【健康づくりをテーマとした地域と大学との連携による新しい研究プロジェクト等の実践】

○大学施設活用や地域交流により、健康・福祉の増進に貢献し、新しい研究プロジェクトを実施



2018年度から、大学近隣の南大谷小学校が“3年生の「地域巡り」の授業”で植物園に来園し、薬になる植物について学んだり、池の中の水生昆虫を観察したりしている。

協定締結後は、新しい研究プロジェクトを通して、さらに地域貢献を進める。

【学生が地域に愛着をもち、地域内において、学生と地域住民との交流を促進するための取組】

○本町田住宅での地域活性化活動



2019年4月に昭和薬科大学、東京都住宅供給公社(以下、JKK)で地域コミュニティの活性化に向けた連携協定を締結。JKKの本町田住宅に大学生の居住を促進し、団地再生及び地域活性化を目的として、学生と自治会の交流による地域活動(画鑑賞会、もちつき、夏祭り、運動会等)を行っている。将来医療人となる薬学生にとってはコミュニティでの活動は多世代交流を通じたコミュニケーション能力の醸成など多様な成長の機会となっている。

今後は、学生と地域住民との多世代交流を進め、活気あるコミュニティを形成するとともに、他団地・周辺住宅地における展開も検討していく。

■市庁舎1階多目的スペースにて「クスリの不思議を知ろう:昭和薬科大学がやってきます！」を開催します！



日時:2020年1月27日(月)~31日(金)

場所:町田市庁舎1階 多目的スペース

主催:昭和薬科大学

昭和薬科大学の研究成果や、これまで大学・町田市が連携して取り組んできた、身近な薬学情報を分かりやすく市民に伝える取組事例などを、パネル展示で紹介します。また、「小さな薬草園」を展示するほか、白衣や保護メガネを付け研究者の姿になって写真撮影ができる体験スペースも設置する予定です。